

平成30年度BSCフォローアップシート（年度末評価用）

病院(所属)名:小児保健医療センター

区分	シナリオ	戦略的目標	BSCの当初目標設定内容				年度末進捗状況			評価・今後の対応	
			業績評価指標	前年度実績	数値目標	主なアクションプラン	アクションプラン実績	数値目標実績	5段階評価		
顧客の視点		難治・慢性疾患児への質の高い医療サービス・全県型医療の提供	重症患児数 (※超重症患児数+準超重症患児数)	847人	880人	1	人工呼吸器、酸素濃縮器、栄養ポンプのケアが必要な患者への対応	呼吸ケアサポートチーム活動実績 ・呼吸ケアサポートチームラウンド…10件 ・認定看護師のコンサルテーション依頼対応…52件	790人	B	重症患児数は前年度と比べ6.7%減少したものの、呼吸ケアサポートは十分な対応ができています。今後も呼吸ケアサポートチームを中心に安全管理を図りながら重症患児への対応を行う。
		慢性疾患患者の救急体制強化	時間外慢性疾患患者救急受入れ応需率 (※患者受入件数/受入依頼件数)	97%	90%	2	救急依頼から診療までの業務改善	時間外患者受入件数…307人(うち入院146人) 受入依頼件数…311件	98%	A	時間外の救急にはほぼ対応できていたが、12月の感染症の流行時期には、個室対応が困難なため、受入れできないことがあった。
		政策医療の提供	精密健康診断実施数	1,618件	1,500件	3	県内の心身に障害を有する児の早期発見、障害の早期除去・軽減	保健指導部…1,008件 直接受診者…423件	1,431件	B	市町からの紹介件数は落ちついており、今後は少子化の影響も視野に入れながら、患者動向を分析する必要がある。
		地域の医療機関等との連携強化	びわ湖メディカルネット患者登録者数 紹介率 逆紹介率	103件 49.0% 48.6%	80件 44.0% 42.0%	4-1 4-2 4-3	びわ湖メディカルネットを活用した連携病院・診療所への患者情報の提供	びわ湖あさがおネット利用説明会を開催 病院延べ登録患者数…230件 紹介患者数…2,172人 逆紹介患者数…2,423人	230件 44.9% 48.6%	S A A	びわ湖あさがおネットの登録患者数は着実に増加しており、他院への患者情報の提供数も前年度と同程度となった。今後も地域医療機関との相互の情報共有により連携を強化する。紹介率は前年度に比べ8.3%減少しており、広報やホームページ等による情報発信を強化し今後の紹介率向上につなげる。
		地域の療育機関等への支援	児童発達支援センター等への派遣回数	135回	140回	5	地域への療育技術指導	派遣回数…131回 指導児童数…712人	131回	B	地域の児童発達支援センター職員や保護者を対象とした研修会の開催を充実したため、派遣回数を見直した。
		在宅療養の支援	年間受入件数	646件	730件	6	レスパイト入院の受入れ	入院延べ患者数…3,669人 1日平均入院患者数…10.1人	872件	A	毎月予約枠の確認と入院調整を実施。全体のベッド利用状況を確認しながら、予約枠を超えて弾力的な運用を行った。引き続き在宅療養支援としてレスパイト入院の受入れを継続する。
財務の視点		病床利用率の向上	病床利用率 新規入院患者数 平均在院日数	66.2% 2,134人 10.3日	76.0% 2,055人 12.5日	7-1 7-2 7-3	院内全スタッフによる病床利用率、新規入院患者数、平均在院日数のモニタリング	対前年度比較 ・リハビリ入院件数の増加…↑0.3% ・レスパイト入院枠の柔軟な対応…↑0.9%	67.2% 2,158人 8.7日	B A S	新規入院患者数は増加したものの、平均在院日数が短縮したことから、病床利用率の大きな改善には至らなかった。今後、欠員医師の補充により診療体制の充実を図り、職下訓練・指導入院の増加やリハビリ入院プログラムの充実、レスパイト入院枠の弾力的な運用などにより病床利用率の更なる改善を図る。
		財務管理の徹底	経常収支比率	99.9%	98.2%	8	経営状況の院内周知	月例会議やグループウェアで毎月の診療実績等の情報共有を行い、経営状況の院内周知を図る。	95.7%	B	病床利用率の低迷に伴い入院収益が減少し、経常収支は目標数値を下回った。経営改善に向けた職員提案の募集を行い、全職員の参画による経営改善の取り組みを進めているところであり、今後も財務管理の徹底に努める。
内部プロセスの視点		職員満足度の向上	現在の仕事に充実感や達成感を感じている職員の率(肯定的回答率)	72.6%	76.0%	9	職員満足度調査結果の病院運営への反映	6/18-7/13職員意識調査(全職員対象) ・調査票回収率…87.8%	65.0%	B	機能再構築の方向性と具体化策の情報を掲示板へ掲載し、職員の共通認識を図っている。また、経営状況の悪化を踏まえ、改善に向けた取組や方向性を示しながら、職員提案を募集した。今後も全職員の参画による職場の活性化を進めていく。
		効率的な職場環境づくり	職員一人あたりの時間外勤務時間数	16.5h	14.6h	10	業務の改善	毎月の衛生管理委員会で、時間外勤務時間の情報分析・共有化を図る。	17.7h	B	サービス残業撲滅の徹底により、目標数値の達成には至らなかった。今後は、業務改善・効率化を推進し、時間外勤務時間の縮減を図る。さらに有給休暇の取得を推奨し、働き改革を進める。
学習と成長の視点		臨床研究活動への支援	論文発表数	20本	26本	11	論文発表費用補助	投稿論文英文校正…8本 学会誌掲載…1本 学会発表…21本	30本	A	医療技術の向上のため、今後も引き続き臨床研究活動への支援を行うとともに、公表した論文について積極的なPRを行い、人材の確保につなげる。
		教育の充実	専門研修派遣者数	306人	154人	12	専門研修の派遣支援	研修会・講習会・セミナー等への積極的参加を奨励。	229人	S	今後も専門研修などへの参加を支援し、専門知識を備えた人材の育成を図る。